

2005年9月12日

株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
2-5 F・Kビル
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
URL : http://www.group.fuji-keizai.co.jp/
広報部 03-3664-5697

精密小型モータ世界市場調査を実施

- 2007年の小型モータ10品目の世界市場は、58億個、1兆2,233億円と予測 -

総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 代表取締役 阿部英雄 03-3664-5811)は、このほど、デジタル家電、自動車向けに需要が拡大する精密小型モータ市場の調査を実施した。その結果を報告書「精密小型モータ市場実態総調査 2005 前期速報版」にまとめた。

本報告書では、環境変化が激しい精密小型モータ市場の動向に対応すべく、2005年上期終了時点での精密小型モータメーカー各社の通期生産・販売計画、採用アプリケーションなどを調査分析し、前期速報版として市場を予測した。併せて、精密小型モータの最大の需要地であるアジア市場で力をつけている台湾、韓国、中国のモータメーカー20社の動向を把握した。

<調査結果の概要>

小型モータ市場はデジタル家電、自動車産業の好況により回復し、特に2003年後半から2004年前半にかけてはデジタル家電が好調で、市場はさらに拡大していく勢いであった。しかし、デジタル機器の生産調整により、2004年後半から失速し、当初の生産見込みを大きく下回り、数量ベースで50億個は超えたものの、前年比4.6%の伸びに留まった。金額ベースでは、2.3%増の1兆1,237億円となった。韓国・中国メーカーなどの台頭が目立っており、コスト競争は熾烈さを増し、FDB(流体軸受け)モータなどの高付加価値製品を除いて、今後も競争は激化するとみられる。

デジタル家電の在庫調整は、2005年に入っても続いている。冷蔵庫、洗濯機などの白物家電、デジカメ、携帯電話などの映像・音響、IT関連製品は在庫調整が解消し切れず、昨年後半以降、大きな動きは見られない。ただし、デジタル家電の在庫調整は終息に向かっているとの見方が強く、2005年後半は年末商戦に向けての設備投資が活発化する兆しも見られる。在庫調整は最終段階にあるといえ、2005年後半は緩やかな回復基調が続くとみられる。

IT関連製品やデジタル家電の価格競争は激しく、値下げ要求は続いている。特にデジタル家電では、アテネオリンピック時のような需給の逼迫感はなく、値上げはまず見込めない。世界的な材料費の高騰、中国人民元の切り上げなど、コスト面での不安材料は多く、採算面の悪化が予測される。このような状況が長引けば、体力勝負の消耗戦となり、上位と下位の差が鮮明に分かれてくる可能性がある。このため、他の分野へのシフト、新たなアプリケーションの模索も同時に進められている。

<需要分野別市場動向>

音響・映像分野はDVDプレーヤーなどの成長市場もあるが、VTR、ラジカセなどのアナログ機器のマイナスが大きく、また、デジタル家電の在庫調整も影響し、伸びは鈍化している。

IT関連製品分野はHDD、プリンタ向けが好調である。特にHDDは小型化が進み、アプリケーションに広がりが出てきている。携帯電話は中国市場での成長が期待されているが、在庫増が懸念材料である。

家電・住設分野は、エアコンの好調により関連するモータも恩恵を受けた。洗濯機、冷蔵庫など白物家電向けはアジアのローカルメーカーも力をつけている。

自動車産業分野が好調で同分野への小型モータ供給も底堅く推移している。材料価格高騰というマイナス要因はあるものの、中型モータほどの影響はでない。新型車投入や排ガス抑制などの環境対応により自動車そのものの需要は強く、生産台数は増加傾向となっている。また車載用モータそのものの搭載台数も増加傾向であり、需要は底堅く、注力する企業は多い。

<注目市場>

ガバナレスモータ

	2004年	2007年(予測)	伸長率
数量	2,994百万個	3,267百万個	109%
金額	5,300億円	5,520億円	104%

2004年はCD/DVDをはじめとしたデジタル機器が好調であったため、前半は順調に拡大した。後半に入りセットメーカーの在庫調整があり、当初見込まれていたほどの大幅な伸びとならず、数量ベースで前年比5%増の30億個弱となった。金額ベースでは価格下落傾向が続き、伸び悩んでいる。2005年は、前半はデジタル機器の在庫調整局面から脱しきれず様子見状態が続いているため、大きな伸びは難しいとみられる。自動車関連は国内・海外ともに需要が伸びており、引き続き好調である。自動車向けモータが市場牽引に大きく貢献している。

アプリケーション別に見ると、音響・映像分野はDVDプレーヤー、デジタルカメラで増加傾向にあるものの、全体的には停滞気味で、特にVTR等アナログ機器はDVDに代替される傾向にある。また、価格下落も激しい。情報・通信分野ではプリンタ、携帯電話機が好調である。自動車分野では車載電装用としてDCパワーモータの採用が増えており、今後も安定した推移とみられる。家電・住設分野では目立った動きはないものの、底堅い需要に支えられ、比較的安定している。

ここ数年、国内生産から中国生産へのシフトが多く見られたが、ここにきて国内生産に一本化する企業もあり、2005年は国内生産がやや戻す見込みである。ベトナム、インドなど他のアジア地域へ進出する企業もあり、中国だけではなく分散化の傾向も見られる。

コアレスモータ

	2004年	2007年(予測)	伸長率
数量	235百万個	323百万個	137%
金額	228億円	297億円	130%

携帯電話機のバイブレーション向けが大半を占めており、それ以外では、デジタルカメラやスチルカメラ向けで実績がある程度である。業務用VTR、高級RCサーボ、医療機器、バーコードリーダなどの用途は需要量こそ少ないものの、携帯電話機ほど価格対応が厳しくないことから、顧客開拓を積極的に行うメーカーもある。携帯電話機、デジタルカメラ向けは2005年も堅調な伸びが期待できるものの、それ以外の用途は横這いの見込みである。一時急速に進んだコア付きモータへの移行も、グレード別に棲み分けが完了しており、今後は応用機器の市場にリンクする形で推移すると予測される。

ワールドワイドベースで見たタイプ別動向としては、従来の円筒型に対し偏平型の需要量が増加している。これは、サムスンなど韓国の携帯電話機メーカーの偏平タイプ志向が強いため、韓国携帯電話機メーカーが欧米、中国でシェアを伸ばした事が偏平型の需要の増加となった。韓国携帯電話機メーカーの勢いは当面続くと予測され、偏平型の需要もこれにリンクして行くと見られる。偏平型では、Samsung Electro-Mechanics、LG Innotekが強い。ただ、日系では、偏平型に特化した展開を図っている東京パーツ工業を始め、各社ラインナップしているが、韓国携帯電話機メーカー以外の需要は少ない。

コアレスモータの主要アプリケーションである携帯電話機の生産拠点がアジア地域にシフトした結果、日本、欧米での需要の伸びは鈍化している。アジア地域、特に中国でシェアの高いノキア、モトローラ、サムスンなどの携帯電話機メーカーと密接な取引関係を結べるかが、今後の実績を大きく左右するであろう。

< 調査対象 >

1. 個別モータ市場編

ガバナレスモータ、電子ガバナモータ、コアレスモータ、ブラシレスモータ(情報系/パワー系)、ステッピングモータ(PM・LS・HB)、軸流ファンモータ(DC・AC)、プロワ(シロッコ)ファンモータ、インダクションモータ、シンクロナスモータ、ユニバーサルモータ

2. 注目アジア企業編

韓国: Samsung Electro-Mechanics、LG Innotek、Moatech、SAMHONGSA

台湾: Delta Electronics、ADDA Corp、SUNON Group、Asia Optical、Epoch Electronic

香港: Johnson Electric Group、Sun Motor Technology Group、Ever Motor Mfg、Hing Lung Motor Mfg、FU WANG ELECTRIC Mfg

中国: Chiaphua Components Limited、金龍機電有限公司、錫山市洛社微特電機廠、JELE ELECTRONICS、樂清市陸發微電機、中山市大洋電機

< 調査方法 >

弊社専門調査員による対象企業への直接面接取材を基本に、アンケート調査、電話ヒアリングにより補完

< 調査期間 >

2005年6月～2005年8月

以上

資料タイトル:「精密小型モータ市場実態総調査 2005 前期速報版」

体 裁 : A4判 144頁

価 格 : 95,000円(税込み99,750円)

調査・編集 : 富士経済 大阪マーケティング本部 第一事業部

TEL:06-6228-2020(代) FAX:06-6228-2030

発 行 所 : 株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル

TEL03-3664-5811(代) FAX 03-3661-0165 e-mail:koho@fuji-keizai.co.jp

この情報はホームページでもご覧いただけます。

URL:http://www.group.fuji-keizai.co.jp